

静岡県が育成した茶の品種「ゆめするが、つゆひかり、香駿、しずかおり」

[研究のねらい]

- ・静岡県の茶栽培面積のうち90%以上が「やぶきた」で占められている。
- ・個性ある茶産地形成のために、香気、滋味に特徴があり、市場性が高い品種を育成する必要がある。

[研究の成果]

『ゆめするが』 緑鮮やかな多収性の晩生品種

来歴 早おくひかり×みやぶきた 登録年 2012年

早晩性 「やぶきた」より4日程度遅い

収量性 多

耐病性 炭疽病：中 耐寒性 赤枯れ：中

品質特性 荒茶品質は全体的に良好で、特に、色沢、水色が鮮緑で優れる。
香味は温和で、飲みやすい茶である。



『つゆひかり』 芳醇な香味と水色優れる多収性品種

来歴 早静岡7132×みやあさつゆ 登録年 2003年

早晩性 「やぶきた」より2日程度早い

収量性 多

耐病性 炭疽病：強 耐寒性 赤枯れ：強

品質特性 エメラルドグリーンの水色と芳醇な香気を有する。また、滋味はコクと旨味が調和する。



『香駿』 香りを楽しむ品種

来歴 早くらすわ×みやかなやみどり 登録年 2000年

早晩性 「やぶきた」と同じか、1日遅い

収量性 多

耐病性 炭疽病：中 耐寒性 赤枯れ：やや強

品質特性 独特の清涼感のある香気を持ち、滋味は旨味と渋味のバランスがとれている。



『しずかおり』 上質な味と香りのやや早生品種

来歴 早おくひかり×みくりたわせ 登録年 2013年 出願公表

早晩性 「やぶきた」より2日程度早い

収量性 成木「多」、幼木「中」

耐病性 炭疽病：中 耐寒性 赤枯れ：やや強

品質特性 香気、滋味が特に優れる。また、荒茶品質は一、二番茶とも、総合的に良好である。

